

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

おおばやし たけお  
経済部長 大林 武夫



### 仕事に対する基本姿勢

本市は、全国でも有数の中小企業の一大集積地であり、活力ある「中小企業のまち」として、また基盤的技術産業を中心に多種多様なモノづくり企業が集積した「モノづくりのまち」として世界的にも名を馳せています。本市の中小企業は、地域経済を支える本市の重要な存立基盤であるだけでなく、市民の雇用やまちのにぎわいを創出する源として、重要な役割を担っています。

しかしながら、中小企業を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化等による国内需要の減少、アジアをはじめとした新興国の台頭などを要因として、従来のビジネスモデルが限界を迎える中で、構造的課題に直面しています。

このような状況の中、社会経済の構造変化に対応した「活力ある産業社会を切り拓くまちづくり」を進めるため、経済部では、中小企業のニーズをきめ細かく把握するため、これまでのツールの活用はもとより、現場に出向き意見の聞き取りや施策の説明を行うとともに、有用な施策を継続的に実施し、より効率的な施策展開に努めてまいります。

### 平成26年度に取り組む重点課題

#### 1 中小企業振興条例に基づく中小企業振興施策の展開と住工共生のまちづくり条例に基づく住工共生への取り組み

市内中小企業は、地域経済を支える本市の重要な存立基盤であるとともに、熟練の技術を引き継ぎ、産業を活性化させ、市民の雇用やまちのにぎわいを創出する源です。地域経済を活性化し、豊かで住みよいまちの実現のため、市内中小企業を対象に、中小企業振興条例に基づく中小企業の振興に関する各種施策を総合的に展開してまいります。

住工共生のまちづくり条例に基づく「モノづくり推進地域」として、既に指定済みの工業地域に加えて、準工業地域の一部についても指定を行いました。本年度は、その地域において住宅を建築する際のルールの徹底を図るとともに施策の実施を通じて緩やかな用途純化への誘導を進めてまいります。また、モノづくり推進地域の中でも特にモノづくり企業の集積

を維持・促進させていくことが必要な地域については、都市計画的手法を活用して土地利用方向の制限も視野に入れた検討を進め、これらを通じて住工共生のまちづくりを進めてまいります。

## 2 「くらしいきいき、にぎわいのまち」に向けた取り組み

市内の消費需要を喚起するとともに、地域商業の活性化を図ることを目的とした経済対策事業として、プレミアム付き市内共通商品券事業（「とくとくトライ券」発行事業）を支援してまいります。

また、商店街や個店を応援するための取り組みとして、女性モニターによる「商店街活性化モニター調査事業」を実施し、商店街や個店のよい点や改善点をSNS等の活用により情報発信し、商店街の応援団づくりをする事業をはじめ、市内商業振興に努めてまいります。

観光振興では、東大阪観光協会と連携を図り、観光ガイドやまちあるきマップの作成、まちガイドボランティアの育成、まち歩きや市内をめぐるバスツアーなどを開催し、市内特産品の販売や観光情報の発信などを行います。また、観光を目的としたバルイベントへの支援など、本市の魅力を市内外に積極的にアピールしてまいります。

## 3 若者などの就職、常用雇用を支援

若者がモノづくり企業で働いている姿を紹介し、モノづくりに目を向けてもらうよう、求職者向けの情報誌「東大阪スタイル」を作成し、市内全戸に配布します。また、「求人企業・事業所合同説明会」や「東大阪モノづくり企業就職面接会」、「モノづくり人材育成塾」などを実施してまいります。

ニート状態の若者が増加していることから、単なる相談だけでなく、仕事体験や各種セミナー、学習交流会や家族交流会を通じて、これらの若者の職業的自立に向けたきめ細かな支援を図り、国の地域若者サポートステーション事業と併せて一体的に事業を進め、就職などへの進路決定に結びつけてまいります。また、高校や大学などとの連携により中退者や進路未決定者への支援も行い、ニートの未然防止を図ってまいります。

## 4 農業の振興と啓発

消費者が地元農産物を購入し、地域の農業を地域に住む人と共に無理なく守る、市民・消費者参加型の地産地消運動である「ファームマイレージ運動」の推進を大きな柱として、大阪府下でトップの認証数を誇る「大阪エコ農産物（※）」を東大阪の地域ブランドとして定着させ、生産者の栽培意欲を高め都市農業の活性化を図ってまいります。

また、定年帰農者・青年就農者・女性農業者をはじめとした生産者の育成・支援や、昨年

度に引き続き料理コンテスト等の開催を通じ市民参加による米や野菜の栽培・収穫体験事業、地元農産物を積極的に食材として使用している市内飲食店の紹介など市内農業に対する市民・消費者の関心と意識を高め、生産者・市民・消費者が共になって地場農業を持続的に守っていくことを目的とした、都市農業の振興を図ってまいります。

※大阪エコ農産物

従来の栽培に比べて化学肥料使用量・農薬の使用回数を半分以下で栽培し、遺伝子組み換え作物でないもの